

銚子ジオパーク市民の会 ニュース

第84号

2018年6月28日 発行

発行責任者 工藤 忠男

編集責任者 藤身 隆雄

TEL 0479 24 2225

http://choshi-geopark.com/

扇風ヶ浦 (銚子市)

平成30年度 銚子ジオパーク推進協議会総会報告

5月22日(火)に標記(地域振興ツーリズム)、総会が銚子市青少年文化会館第一会議室で開催されました。34構成団体の半数以上が出席し、多数の来賓と傍聴人も同席する盛況な総会でした。

推進協議会会長越川信一市長、顧問信田光保千葉県議会議員の挨拶の後、平成29年度の事業報告、収支決算報告・監査報告、平成30年度事業計画案、収支予算案、及び、新名称「社会教育課文化財・ジオパーク室」に伴う規約改定案が審議され、事務局提案通りに承認可決されました。

を最重要課題として活動することとすることで、市民の会の活動もそれに必要があると思われ、総会終了後、西念和徳氏、田中豊氏、出口節氏、藤身隆雄氏の銚子ジオパークジオガイド認証式が行われました。

(傍聴:小玉健次郎)

縄文の森へ

藤本京子

土のように積み上げていたのは「何かの意図があったのでは」とガイドが説明。現代風に言えば村を守る塀にリサイクル?

に私達には縄文人のDNAがしっかりと残っていて加曾利貝塚は日本人の魂のふる里のようだ。

はいっ頃から言うようになつたのかな? <隠居 いろいろな説があつて、はっきりとはしないね。古くは、清少納言の枕草子に「池ある所の五月長雨さつきながあめ」のころこそいとあわれなれ」と書かれている。

加曾利貝塚は初めての私は、私達の町の要島台、余山貝塚の延長線だろうと予想していたが、クヌギ、コナラ、クリ、シイなど縄文時代の植生を再現した森と草原に足を踏み入れると、縄文の世界に心が引き込まれて行く。見事に保存、展示された貝塚。「縄文人のゴミ捨て場」以上の意味があるよっだ。

ドーナツ型又は馬蹄形の2m位の高さにまで盛り上げている。復元集落の堅牢式住居のかまど跡を見ながら「イボキサゴスープに山菜、イノシシ肉の入った縄文鍋料理は美味しいだろうな」と、にんまりしてしまふ。

自然の恵みを上手に利用した狩猟採集中心の持続可能な暮らしを約2千年間も築いていた縄文人に敬愛の念を抱き、さら

「これに梅雨(つゆ)と名づく」とある。こうしてみると、千年位前には「五月雨(さみだれ)」が使われており、



梅雨を考える

宮内秀

◆熊 うつとしい梅雨の季節だね、「つゆ

前には「五月雨(さみだれ)」が使われており、